委員（総書記含め7人）、その下に位置する政治局員（常務委員除き18人）の顔ぶれをつぶさに見ると、組織を掌握するためにはこのように人事権を行使するべきだ、と学ぶことができる。

日本の企業に例えると、総書記は社長、政治局常務委員が16人の企業ですが、総特許出願件数は70件を超えるとのこと。同規模の卸業者で、これほど多くのアイデアを出願する企業は全国的にみても珍しいのではないかと思います。それは起業当初から、取引先で聞いた課題をものづくり力で解決してきた結果だと話します。

近年、同社が開発したのが高い抗菌機能を持つ強アルカリ水「アプリテック」。建物の養生だけではなく、今後は「人の養生」に対しても力を入れていきたいという考えから生み出されたそうです。

特許で技術とブランド借りる

同技術「アプリテック」は特許権を取得した先進的な発明です。しかし、世の中にこの技術が広がるためにはブランド力が必要だと感じたそうです。いい技術でも、養生資材の会社がなぜ強アルカリ水の商品を作り出したのかとよく言われたそうです。そこで、

宝養生資材が開発した抗菌石鹸

同社は東京大学と富士通が共同開発した抗菌・消臭機能を有する光触媒「チタンアパタイト」を使うことに決めたのです。

「チタンアパタイト」自体に抗菌・消臭機能があるため、石鹸に採用できるのでは、と考えたそうですが、それ以外に東京大学と富士通というブランドの力を取り入れることに期待したそうです。中小企業の知名度の低さを補う一つの手段として、開放特許を活用するという手段を選んだのです。商品のパッケージにも「東京大学と富士通が共同開発したチタンアパタイトを配合」と明記されています。開放特許を使う一つの魅力として大手企業や大学が持つネームバリューを貸してもらえるのもあるのだと実感しました。

社内で新製品開発が認められた

開放特許を使った製品作りが「川崎モデル」と言われ、全国から注目を集めるようになり、本取材も同様ですが知名度を上げることに役立っています。結果として上述した同社のブランド戦略はうまくいったのではないかと感じました。吉村政城社長は開放特許を活用した製品作りをしたことによる効果について、第一に、ブランドを借りることができたこと、第二に、会社内での製品開発が認められるようになったことだと言います。社内で新製品開発を行うには会社の応援が必要です。製品が注目されること、大手企業や有名大学と製品開発することで製品開発が社内で認められはじめたのだと言います。

【知財コンサルタント 弁理士 富澤 正】
（月曜日に掲載）

OPINION

ナビゲーター

モノづくりの窓口
みんなの特許 84

開放特許を活用したブランド戦略

自社技術に特許をプラス

PHOTO NEWS

新潟市の海岸で横田めぐみさん＝失踪当時（13）＝が北朝鮮に拉致されてから15日で40年になるのを前に、父滋さん（84）撮影の写真展が6～12日、新宿駅東西自由通路で開かれる。展示されるのは、小学校時代のめぐみさんとの家族写真など約30点。支援団体「あさがおの会」が主催する。6日にはめぐみさんの母早紀江さん（81）が来日するトランプ米大統領と面会する。写真は横田めぐみさん（右端）の家族写真＝1975年、旅行先の山口県萩市（横田滋さん撮影）で。

Opinion オピニオン

人事権

首相が就いたが、序列3位は習総書記がもっとも信頼を置く栗戦書党中央弁公庁主任が昇格した。習派閥の「幹事長」のような存在で、常務委員会を習総書記の意のままに操る役目が与えられそうだ。

序列4位から序列7位までとされる。現時点で政治局の会議は習総書記が主導権を握ることになる。

もう一歩踏み込んで考えてみたい。習総書記は5年後の共産党大会後もトップに君臨する野望を持っているとされる。そのためには若い政治局員から政敵が出ないよう、そろそろトップ人事を固める時期だ。次期社長は自分を支える役員人事を年末年始にかけて考える。組織の掌握は社長としてもっとも重要な仕事の一つといえる。習総書記の取った手法を参考にしてはいかがだろうか。

神が生んだロシア革命

脈打つ

協力を必要とした。革命政権の官房長官となったウラジーミル・ボンチ＝ブルエビッチは、レーニンの指示で、古儀式派の研究を究めた人物だ。

約250年の忍従を強いられた古儀式派の「マグマ」を抜きに、ロシア革命は考えられない。古儀式派は一種の「キリスト教社会主義」が可能だと考えていた。

病に倒れたレーニンは、最後の日々を古儀式派の村で過ごした。古儀式派に守られたとも言える。遺体を保存して公開するよう主張したのも古儀式派系の政権幹部だ。

重要な役割を果たした古儀式派だが、無神論国家ソ連では、その存在は表に出なかった。しかし、その人脈は権力中枢に途切れなかった。

ソ連の首相はスターリン時代を含め、58年まで常にロシア・ソ連の歴史で、世俗の元首が古儀式派の指導者と公式に会ったのは初めだ。プーチン氏は古儀式派を異端とするロシア正教会の信徒だが、先祖は古儀式派との説もある。彼は宗派の和解を考えているのかもしれない。

私たちは今まで、ソ連について国家と宗教を切り離して見てきた。歴史の過程で、非常に古い岩盤が地表に出てくる局面がある。ある種の伝統主義の潮流がある。見逃すとロシアの真の姿は見えない。西側、特に米国のロシア観が、実像とずれてきたのが気になる。

× ×

「革命と戦争」の世紀と呼ばれた20世紀を象徴するロシア革命から、7日で100年。無神論国家の成立には、異端宗派が深く関与していた。革命の真実と意味を問い直す試みが続く。

置するイワノボ（現イワノボ）に出現した。

この都市の名前は「ヨハネ昇天」を意味し、ロシア古来のキリスト教徒「古儀式派」の拠点だった。古儀式派とは、17世紀半ばの教会改革により、帝政とロシア正教会から異端とされた人々だ。

彼らは教会を持つことを禁じられた。しかし独自のネットワークを構築し、19世紀末から繊維産業や水運を中心に、資本家として急成長を遂げた。労働と勤勉を重んじ、「影の国家」とも言える力を蓄え、やがて政治にも乗り出した。

イワノボ・ボズネセンスクのソビエトは、労使協調の古儀式派が、労働や生活に関する問題を解決する場だった。

古儀式派から見れば、「聖なる都」モスクワを捨

【大学生・社会人部門】
最優秀賞「見ていて…
新聞配達員は、お客様に気がれてはいけない。
大学は新聞奨学生として通っ暑、大雪、停電、嵐をついて、ポス目指して走った。心掛けていたの聞配達は意識されないことが最ということだった。
毎朝「今日も新聞が届いていと考える人はいないと思う。新聞員が意識されるのは、不着・雨ぬけ・遅配などで正しく手元に届かったとき。だから、意識されるまなく当然毎日そこにある。それがのあるべき姿だと思っていた。

【中学生・高校生部門】
最優秀賞「心のエネ

【小学生部門】
最優秀賞「日本一の

日本一の新聞屋さんが、私の住にいる。
2017年2月10日、私が住いる、広島県庄原市高野町で、今多の24時間降雪量71㎝を記録前日までに降った雪と合わ125㎝になった。
その日の朝、お父さんは新聞をでいなかった。新聞が届いていなからだ。
小学校は1、2時間目が休み、大雪で、駐車場から車が動かくて、お父さんも仕事を休んだ。外で雪かきをしていたお父さ新聞を持って家に入ってきた。新